

# 平成23年度（第47期）収支決算報告

## 一 般 会 計

### I 事業活動収支の部

#### 1. 事業活動収入

|           |       |
|-----------|-------|
| ①基本財産運用収入 | 851万円 |
| 利息収入      | 697万円 |
| 配当金収入     | 154万円 |

利息収入は国債2本、道債2本、海外金融債1本の運用益。前期に入れ替えた債券2本の差額分配金が計上されたことなどから前期比で約20万円の運用益を出した。配当金収入は所有する北海道新聞社の株式（15,400株）と北海道放送の株式（30,000株）の配当金収入で、北海道放送の配当金が24万円増加した。

#### ②寄付金収入

|       |         |
|-------|---------|
| 寄付金収入 | 4,065万円 |
|-------|---------|

予算額4,000万円に対し、65万円の増。東日本大震災への義援金の影響で寄付件数の減少が懸念されたが、震災をきっかけに「助け合い」の精神が盛り上がりを見せたのか、寄付金収入は2年ぶりに4,000万円の大台を回復した。

#### ③雑収入

|        |       |
|--------|-------|
| 受取利息収入 | 842万円 |
|--------|-------|

貸付事業引当有価証券、道新みらい君奨学金引当資産などで所有する国債1本、道債1本、海外金融債3本の受取利息収入。1月末に地方債2本を海外金融債2本に入れ替えた際、経過利息収入（201万円）などが出て予算額（570万円）を272万円上回った。

#### ④他会計からの繰入金収入

|              |       |
|--------------|-------|
| 特別会計からの繰入金収入 | 659万円 |
|--------------|-------|

便宜的に一般会計で処理されている事業運営費（119万円）と基金運営費（1,198万円）は作業量基準に応じて貸付事業会計と折半しており、両運営費の合計金額を折半した659万円を一般会計に繰り入れた金額。

#### 2. 事業活動支出

|        |         |
|--------|---------|
| ①事業費支出 | 6,046万円 |
|--------|---------|

奨学金支給や小規模授産施設などへの助成事業からなる。国が22年度から私立高校生への就学支援制度をスタートさせたことから、みらい君奨学金の支給が前期の124万円から36万円へと大幅に減ったが、東日本大震災を受けて特例助成事業を行ったことなどから、予算額（5,510万円）を大幅に上回った。

|          |       |
|----------|-------|
| ②事業運営費支出 | 119万円 |
|----------|-------|

基金をPRするため道新、道新スポーツを中心とした新聞などへの広告掲載料。北海道新聞のポケットブックや販売局PR紙などへの広告を取りやめたことなどから予算額150万円に対して31万円の減。

|          |         |
|----------|---------|
| ③基金運営費支出 | 1,198万円 |
|----------|---------|

人件費や会議費、印刷製本費などから構成される。経費の削減に努めているが、東日本大震災支援で道社協にパソコンセット1セットを寄贈したことなどから予算額を58万円ほど上回った。

### II 投資活動収支の部

#### 1. 投資活動収入

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| 事務局員の退職などがなく、退職給付引当資産を取り崩す必要がなかった。 | 0円 |
|------------------------------------|----|

|   |         |
|---|---------|
| 2. 投資活動支出   |         |
| 特定資産取得支出  | 85万円    |
| 退職給付引当資産取得支出  | 85万円    |
| 23年度末に必要な退職金額を積み立てた。                                |         |
| Ⅲ 財務活動収支の部  |         |
| 1. 財務活動収入   | 該当なし    |
| 2. 財務活動支出   |         |
| 出損金相当返戻支出   | 6,000万円 |
| 当基金の設立時に北海道から支援していただいた出損金相当額を公益法人認定のタイミングに合わせて返戻した。 |         |